

ポイント

(農業信用保険料率算定委員会の結果)

第4期中期計画において、「毎年度、保険料率水準の点検を実施し、必要に応じて、保険料率の見直しを行う」こととしている。

【点検の結果】

1. 保険料率の理論値と現行保険料率を比較検証したところ、
 - 農業経営改善資金及び農業経営維持資金については、理論値が現行保険料率を上回っており、引上げも検討すべきところであるが、資金の政策性等を踏まえて、据置き。
 - 農業運転資金については、理論値と現行保険料率が同水準であることから、据置き。
 - 農業施設資金、農家経済安定施設資金及び農家生活改善資金については、理論値が現行保険料率を下回っており、資金全体での理論値と現行保険料率の差が約2割であることから、約2割の引下げ。
2. その他
 - 優遇料率については、その適用による保険料収入減に係る負担が今後増加していくことが見込まれるため、借入者の信用リスクに応じた保険料率を速やかに導入して、これに代替えさせるべき。
 - 災害特例保険料率については、基金協会が行う保証料率の引下げに応じて変動させる等の見直しを検討。